

地域づくりの設計図を描く実践講座

～対話・ビジョン・計画作成の基本を学ぶ～

開催要項

1. 目的

人口減少、少子高齢化が進む中山間地域において、生活機能の維持や地域課題の解決に重要な役割を果たしている地域運営組織等の地域で活動する団体や、支援に関わる関係者が、地域課題の解決に向けた活動をより効果的・継続的に進めていくために、「ロジックモデル（課題解決の設計図）」の手法を活用しながら、活動の目的や成果、計画を論理的に整理・共有できる力を育むことを目的としています。

あわせて、団体内部や関係者間での合意形成や話し合いの進め方にも着目し、コミュニケーションの基本やファシリテーションの視点も学ぶことで、団体内の関係性や意思決定のあり方を見直す機会とします。

活動の“想い”を言葉にし、“成果”を見える形で示しながら、共に目指すビジョンを描き、周囲と共有・連携していく力を身につけることを目指します。

2. 開催日程・会場（予定）

回	日時 ※各回 13:30～16:30	会場 (予定)
第1回	令和7年 9月 7日（日）	大田商工会議所 3F ホール（大田市大田町大田イ 309-2）
第2回	令和7年 9月 28日（日）	島根県立男女共同参画センターあすてらす 3F 研修室1 （大田市大田町大田イ 236-4）
第3回	令和7年 12月 21日（日）	

※お申込み多数の場合は、会場が変更となる場合があります。

3. 対象

□ 地域運営組織・地域活動団体

連合自治会・まちづくり協議会・地域運営組織など、地域で継続的に活動している団体。

□ 地域団体を支援する行政職員・社会福祉協議会職員等

地域振興、福祉、協働推進等を担当する市町村職員や団体を支援する社会福祉協議会等の職員

□ 中間支援組織や地域づくりの推進に関わる団体

地域内外のネットワークづくりや人材育成を担う中間支援組織、NPO 法人等

□ その他地域活性化に関わる団体等

✓ こんな団体におすすめ！こんなお悩みありませんか？

- ・ 活動の目的や目標が曖昧になっている。
- ・ 活動の停滞・モチベーションの低下を感じる。
- ・ 活動と成果のつながりが見えにくい。
- ・ 活動の意義や成果をうまく説明できない。
- ・ メンバー間の認識にズレが生じている。
- ・ 地域ビジョンや計画の作り方が分からない。

4. 講座の構成と特徴

本講座は、地域運営組織をはじめとした地域づくり団体が、自団体の目指す姿を明確にし、活動を整理・計画する力を高めることを目的に、3回シリーズで実施します。講義と実践的なワークを組み合わせた内容で、団体内部の対話や支援者との協働を促進する学びの場とします。

活動の方向性が不明確、成果が伝わりづらい、内部や支援者との意見の食い違いがある...

こうした地域団体に共通する課題に対し、「ロジックモデル」という考え方を学びながら、より良い話し合いと合意形成、そして実効性のある計画づくりへとつなげていきます。

□ 第1回 「合意形成と話し合いの力を高める」

地域団体の活動においては、「計画や目標を一部の人だけで決めてしまう」「意見が出にくい」「話し合いが一方通行になる」といった課題がしばしば見られます。

第1回では、活動を支える土台としてのコミュニケーションの基本とファシリテーション（合意形成）について学び、団体内外での対話の質を高める方法を実践的に考えます。

講 義：合意形成とは／話し合いの場づくりの基本

ワーク：対話型の意見整理、立場の異なる人との合意形成体験

振り返り：自団体の話し合いの傾向を見直し、改善のヒントを探る

□ 第2回 「ビジョンを描き、活動の意味を見つめ直す」

地域で活動が続ける中で、「そもそも自分たちは何のために活動しているのか」「将来どうなっていたらうれしいのか」といった“思い”を言葉にする機会は意外と少ないものです。

第2回では、こうした活動の原点に立ち返りながら、団体のビジョン（目指す地域の姿）を明確にし、活動の背景や意味を整理していきます。

講 義：ビジョンとは何か／ビジョンと地域課題の関係

ワーク：自団体のビジョンや地域の変化を言葉にするワーク

共有：他団体と想いを共有しながら視野を広げる

□ 第3回 「ロジックモデルを活用し、活動を“見える化”する」

最終回では、これまでに整理したビジョンや話し合いの成果をもとに、団体の活動を「ロジックモデル」の形で整理し、発表・共有を行います。

ロジックモデルは、活動の流れや成果を一目で把握できる図式化ツールであり、団体内の共通理解の形成や、支援者・住民への説明、計画づくりに役立ちます。

講 義：ロジックモデルの構成要素と活用方法

ワーク：自団体のロジックモデル作成

発表：他団体とモデルを共有し、意見交換を通じてブラッシュアップ

5. 講師プロフィール



モジヨコンサルティング合同会社

代表 長浜 洋二 氏

1969年山口県周南市生まれ。現在は神奈川県横浜市在住。

中央大学卒業後、NTTに入社。その後、アメリカ・ピッツバーグ大学の大学院に留学。NPO マネジメントを学び、非営利シンクタンクで政策調査やファンドレイジングに携わるなど、約5年間アメリカでの実務経験を積む。帰国後は、マツダや富士通でマーケティングに従事する一方で、NPO

支援にも注力。2004年に「NPO マーケティング研究所」を設立し、全国各地で実践的なマーケティング研修プログラム、『草莽塾』を開催。

現在は、モジヨコンサルティング合同会社の代表として、自治体やNPO、地域団体など、社会課題に取り組む多様な組織の伴走支援を行っている。

[著書] 『公務員のためのマーケティング講座』（学芸出版社・2025年）

『NPOのためのマーケティング講座』（学芸出版社・2014年）

『学びの見える化の理論と実際：教育イノベーションに向けて』（勁草書房・2023年）

6. 定員

50名程度

7. 参加費

無料

8. 受講上の留意事項

- ・本講座は全3回の連続講座のため、可能な限りすべての回にご参加ください。
- ・1つの法人または団体から複数名（2～3名程度）で参加されることを推奨します。
- ・各回の講座内容は団体内で共有し、活動の見直しや企画立案等に活用してください。

9. 申込方法／申込期間

以下のしまね電子申請サービスよりお申し込みください。

【申込フォーム URL】

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shimane/smart-apply/apply-procedure-alias/sekitou-jissen>



【申込期間】

石東圏域（大田市・川本町・美郷町・邑南町）

8月 1日(金)～8月31日(日)

上記以外の地域

8月 18日(月)～8月31日(日)

10. 主催

島根県

11. 問い合わせ先

島根県西部県民センター石東地域振興課 担当：栗屋・坂本
〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ 236-4 あすてらす 2階
TEL：0854-84-9581 FAX：0854-84-9578
Email：awayahiroshi@pref.shimane.lg.jp